

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2014-170640 (P2014-170640A)

【公開日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報 2014-050

【出願番号】特願 2013-40922 (P2013-40922)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 3 7 5

F 2 1 S 2/00 3 6 5

F 2 1 S 2/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 1 日 (2014.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光素子を収め、外表面には放熱フィンを備えた放熱体と、
前記発光素子の電源回路を収納し、外表面に放熱フィンを備えた電源ケースと、
前記電源ケースに設けられた取付アームと、を備え、
前記電源ケースは、前記放熱体からみて前記取付アームが延びる側に前記放熱体の放熱
フィンとの間に空間をあけて設けられ、前記放熱体から当該放熱体の前後に対して斜めに
延びて設けられている

ことを特徴とする照明器具。

【請求項 2】

狭角配光を形成する凹状の反射鏡が前記発光素子を囲うように前記放熱体に設けられ、
当該反射鏡の先端部を前記放熱体の前側から突出させ、当該放熱体の後ろに向かって斜め
に延びるように前記電源ケースを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の照明器具。

【請求項 3】

前記放熱体は、互いに異なる角度で形成された前記放熱フィンを備えていることを特徴
とする請求項 1 または 2 に記載の照明器具。

【請求項 4】

前記放熱体の開口端を覆うグローブを備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか
に記載の照明器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、本発明は、発光素子を収め、外表面には放熱フィンを備え
た放熱体と、前記発光素子の電源回路を収納し、外表面に放熱フィンを備えた電源ケース
と、前記電源ケースに設けられた取付アームと、を備え、前記電源ケースは、前記放熱体

からみて前記取付アームが延びる側に前記放熱体の放熱フィンとの間に空間をあけて設けられ、前記放熱体から当該放熱体の前後に対して斜めに延びて設けられていることを特徴とする照明器具を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また本発明は、上記照明器具において、狭角配光を形成する凹状の反射鏡が前記発光素子を囲うように前記放熱体に設けられ、当該反射鏡の先端部を前記放熱体の前側から突出させ、当該放熱体の後ろに向かって斜めに延びるように前記電源ケースを設けたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また本発明は、上記照明器具において、前記放熱体は、互いに異なる角度で形成された前記放熱フィンを備えていることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また本発明は、上記照明器具において、前記放熱体の開口端を覆うグローブを備えることを特徴とする。